

アルケア社員2名がアジアパラ競技大会2018日本代表に決定！ 北園新光（視覚障害者柔道）、古畑篤郎（車いす陸上短距離走）

2018年10月6日(土)から開催される アジアパラ競技大会2018 の日本代表選手にアルケア社員2名が選出されました。

■選手紹介



（北園新光コメント）

目標は、ずばり金メダルを獲ることです！自分らしい柔道をして、優勝を目指します！最近の稽古では常に試合を意識し、本番で自分の柔道ができるよう練習しています。

北園新光（きたその あらみつ）

1991年2月17日 兵庫県神戸市生まれ。

谷亮子選手の活躍を見て憧れを抱いたのがきっかけで、幼少期から柔道を始め。柔道強豪の育英高校(神戸市)で鍛錬を積むが、京都産業大学進学時の検査で網膜色素変性症と判明。以降は視覚障害者柔道に転向。

2012年 ロンドンパラリンピックには100kg級で出場し7位に終わる。体格で勝る諸外国選手と戦うため、2016年リオパラリンピックでは30kg以上の減量を決行し73kg級で出場、5位入賞を果たした。

2014年 アジアパラ競技大会 90kg級 銀メダル

2015年 全日本視覚障害者柔道大会 81kg級 金メダル(3連覇)

2016年 リオパラリンピック競技大会 73kg級 5位入賞

2017年 IBSA柔道世界大会(ウズベキスタン) 81kg級 銅メダル



（古畑篤郎コメント）

目標はメダル獲得です！昨年10月の入社から筋力アップに励み、体重は4kg増量、胸囲は5-6cmアップしました。

古畑篤郎（こばた あつろう）

1993年11月27日 大阪府生まれ

先天性の「脳性麻痺」を持って生まれる。小学4年生の時、授業の一環で車いすバスケットボール選手の実技を見たのがきっかけで車いすスポーツに出会い、中学から車いす陸上を始める。

18歳で2012年ロンドンパラリンピック日本代表として100m、200mに出場。100mでは9位と悔しい結果に終わる。2016年より厳しい筋力トレーニングを開始し肉體改造を図る。2020年東京パラリンピックを視野に、これまで得意としてきた短距離に加えて800mにもチャレンジ。

2017年 ジャパンパラリンピック 100m 1位、200m 1位

2018年 ワールドパラアスレティクスグンプリ(ドバイ) 100m 3位

800m 3位

アルケアはベストケア創造企業として、健康で豊かな医療福祉社会を実現することを使命とする医療機器メーカーです。2015年にパラアスリートを社員として迎え、障害に負けることなく世界を舞台に活躍する彼らをアルケアは応援しています。